

2021年8月31日

【GAM FCM Cat Bond：ハリケーン「アイダ」のファンドへの影響について②】

米国ルイジアナ州に上陸したハリケーン「アイダ」の GAM FCM Cat Bond Inc.（以下、ファンド）への影響について Fermat 社のコメント第 2 弾を入手しましたので、お知らせいたします。

【要旨】

（2021年8月29日ニューヨーク時間20時時点でのコメント）

前回のご報告時から、ルイジアナ州に上陸したハリケーン「アイダ」に関するネガティブな追加報告はありませんでした。

- 引き続き保険損失は150-250億米ドルのレンジを予想（ファンドへの元本毀損の影響は前回のご報告を参照ください）しています。
- 前回のご報告における時価下落の予測については、元本毀損が含まれております。
（数日中に確定される8月末時点のNAVでは、実現損失と今後予想される損失動向が反映される見込みです。）

ハリケーン「アイダ」による損失の予測を過去のハリケーンと比較：

- i. ハリケーン「ローラ」（2020年）、或いはハリケーン「マイケル」（2018年）による損失の約2倍程度の損失
- ii. ハリケーン「ハービー」（2017年）と同等の損失
- iii. ハリケーン「イルマ」（2017年）、或いはハリケーン「マリア」（2017年）を若干下回る程度の損失

2017年に発生したハリケーン（「ハービー」、「イルマ」、「マリア」）の保険損失は約750億米ドル（洪水を除く）となりました。現時点では、保険損失は2017年の水準には至っていないと試算していますが、もしも今回の「アイダ」と同等程度のハリケーンが今後2、3個発生した場合には、2017年の損失水準に近づく可能性があります。

「今回のハリケーンは、保険（再保険）とILS市場双方の2022年の契約更新に向け、気を緩める時間がないことを喚起させる機会になる」と考えます。

今週後半にはより詳細が明らかになると思われます。次回のご報告は今週水曜日9/1のニューヨーク時間（日本時間2日）を予定しています。

* 本レポートは機関投資家への情報提供が目的ですが、内容や解釈の正確性あるいは完全性についてはこれを保証するものではありません。

ベストミックス・インベストメント株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋4-9-1 新橋プラザビル1008号

電話：03-6869-7770（代） Fax：03-6869-7711